

日本エコミュージアム研究会 令和8年度全国大会 in 新宿

「エコミュージアムとして地域遺産の保存と展示を考える – 都心部自治体の実践を通して –」

開催日時：2026年11月14日（土）10：00～16:30

開催場所：東京都新宿区落合界隈 & 新宿区立漱石山房記念館

主 催：日本エコミュージアム研究会

後 援：東京都新宿区

◆開催趣旨

東京都新宿区内には、近世に敷かれた街道や交通の要衝として発展してきた歴史に関わる遺産や、近代に文豪や画家などが暮らし培ってきた文化芸術に関わる遺産が各所に点在しています。都心部において、歴史文化環境の価値を高めてきています。それら魅力的な地域遺産は住民にとっての誇りであり、新宿区では行政として、それらの地域遺産を積極的に保存・活用を試みています。

今回の全国大会は新宿区での地域遺産への取り組みと保存・活用の実践を学び、地域遺産をエコミュージアムの展示資料としてどのように扱っていきべきかその方法を考えていきます。

◆開催概要

全国大会は2部構成とし、第1部(午前)は、新宿区落合に現地保存・公開されている中村彝アトリエ記念館、佐伯祐三アトリエ記念館の見学会を実施し、その現状を視察します。第2部(午後)は、「新宿区の取り組みと漱石山房記念館の再現展示」というテーマでフォーラムを開催します。

フォーラムの開催に先立って、新宿区指定史跡の漱石公園や漱石山房記念館（入館料必要）を自由に見学していただきます。その後、同記念館の講座室で新宿区における地域遺産の保存・活用の施策、設立経緯や運営をはじめ、再現や展示などについて関係者からの説明を伺い、意見交換を通して地域遺産の保存や展示、地域とのかかわりなどを考えます。

第1部 現地見学会「新宿区の地域遺産の保存・展示を探る」

開催日：11月14日（土）10：00～11:10

開催地：新宿区落合界隈

<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/wp-content/uploads/2021/11/Ochiai-Map-20211130.pdf>

◆見学会

案内・講師：北見恭一 氏（新宿区文化観光産業部文化観光課 文化資源主査・学芸員）

10：00 集合	JR 山手線 目白駅 改札口（一箇所）
10：00～10：15	目白駅出発 ⇒ 中村彝（つね）アトリエ記念館 到着（徒歩 約 15 分）
10：15～10：35	中村彝アトリエ記念館 見学
10：35～10：50	中村彝アトリエ記念館 出発 ⇒ 佐伯祐三アトリエ記念館 到着（徒歩 約 15 分）
10：50～11：10	佐伯祐三アトリエ記念館 見学
11：10～13:30 昼食・移動 自由見学 （次ページ詳細）	佐伯祐三アトリエ記念館 にて解散 ⇒ 漱石山房記念館にて集合 ① 各自昼食、 ② & ③各自移動（目白通りから都営バス乗車） 都バス（白 61 系統「新宿駅西口」行き乗車 ⇒ 「牛込保健センター前」下車 徒歩 2 分） ③ 自由見学；漱石公園、漱石山房記念館、漱石の散歩道

11:10～ ① 昼食・移動	佐伯祐三アトリエ記念館 にて解散 ⇒ JR 目白駅まで徒歩 約 20 分 *各自で昼食（目白駅周辺で各自） 漱石山房記念館にはカフェのみ（食事メニュー無し）併設しています。 施設周辺にはレストランなどが無いため、目白駅周辺で昼食をお取りください。 （フォーラム会場での食事は禁止です。昼食は済ませてからお越しください。） 佐伯祐三アトリエ記念館 ⇒ 目白駅前 都バスで約 6 分（10 分間隔で運行） * 都営バスで移動もできます。（白 61 系統）「新宿駅西口」行き 「聖母病院入口」⇒「目白駅前」約 6 分
昼食後 漱石山房記念館への ② a 都営バスで移動	a 目白駅で昼食後に都営バス（白 61 系統「新宿駅西口」行き） * 乗車バス停「目白駅前」 ↓ バス乗車 約 20 分 * 下車バス停「牛込保健センター前」 ↓ 徒歩 約 2 分 漱石山房記念館
昼食後 漱石山房記念館への ③ b 都営バスで移動	b 佐伯祐三アトリエ記念館近くのバス停「聖母病院入口」周辺で昼食を購入した場合 都営バスで移動（白 61 系統）「新宿駅西口」行き * 乗車バス停「聖母病院入口」 ↓ バス乗車 約 25 分 * 下車バス停「牛込保健センター前」 ↓ 徒歩 約 2 分 漱石山房記念館
漱石山房記念館 フォーラム開始まで ④ 自由見学	漱石山房記念館講座室 14:00 開始（13:30～受付）まで自由見学 漱石公園、漱石山房記念館、文学散歩（漱石ゆかり）

第2部 フォーラム「新宿区の取り組みと漱石山房記念館の再現展示について」	
開催日：11月14日（土）14:00～16:30	
会 場：新宿区立漱石山房記念館 講座室	
◆フォーラム	
自由見学	漱石山房記念館（観覧料：特別展『坊ちゃん』(仮)開催中 一般 500 円） 漱石公園、漱石の散歩道
13:30～	フォーラム受付
14:00～14:10	挨拶・趣旨説明（JECOMS 会長 馬場憲一）
14:10～14:50	①「新宿区歴史文化遺産の保存・活用 漱石山房記念館などについて」 講師：北見恭一氏（新宿区文化観光産業部文化観光課 文化資源主査・学芸員） * 漱石山房記念館の設立経緯・運営・活動、他の新宿区取り組みとの連携 等 （中村彝アトリエ記念館／佐伯祐三アトリエ記念館／林芙美子記念館、新宿区三博物館）
14:50～15:30	②「漱石山房記念館 漱石山房の一部復元展示などについて」 講師：加藤 剛 氏（株丹青社デザインセンター 文化・交流空間デザイン局） * 漱石山房の部分的な再現にあたっての調査、展示設計、展示手法 等
15:30～15:40	休 憩
15:40～16:25	③ 意見交換・質疑 講師：北見恭一氏、加藤 剛氏 コーディネーター：JECOMS 理事 大山由美子
16:25～16:30	④ フォーラム総括：JECOMS 会長 馬場憲一

◆参考資料 見学する建物施設の概要(新宿歴史博物館ホームページより)

・漱石山房記念館

新宿区は夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。「新宿区立漱石山房記念館」は漱石が晩年の9年間を過ごし、数々の名作を世に送り出した「漱石山房」のあった地に、2017年9月24日に開設されました。記念館では「漱石山房」の一部を再現し、新宿区が所蔵する草稿や書簡、初版本などの資料も展示公開されています。再現にあたっては各種資料の調査、関係者へのインタビューなどを実施しました。

各自、観覧料（通常展）一般 300 円をお支払いいただきます。

（ホームページ参考 <https://soseki-museum.jp/> ）

・中村彝アトリエ記念館

中村彝(つね)は大正期に活躍した洋画家で、大正5年(1916)、落合村下落合464番地(現・新宿区下落合3-5-7)にアトリエを新築しました。彝の没後、このアトリエは彝のもとに集まった画友らを中心とした中村彝画室保存会により保全され、やがて洋画家の鈴木誠(1897～1969)の所有するところになり、今日まで保存されてきました。

この記念館は、後年増改築された建物を、大正5年建築当初の姿に復元したものです。当時の部材も数多く活かして復元されたアトリエは、この記念館の最大の財産です。彝が病魔と闘いながら制作を行ったこのアトリエを、関連展示とともに公開しています。

（ホームページ参考 <https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/tsune/40357/> ）

・佐伯祐三アトリエ記念館

佐伯祐三は大正10年に、豊多摩郡落合村下落合661番地(現・中落合2丁目4番)にアトリエ付き住宅を新築しました。この地で佐伯が生活し創作活動をしたのは、米子夫人と長女彌智子と共に、フランスに向かう大正12年までと、大正15年に帰国し、再びフランスに渡る昭和2年まで合わせて4年余りにすぎません。

しかし、この地は、佐伯がアトリエを構え、創作活動拠点とした日本で唯一の場所であり、現在も、当時のままの敷地に、大正期のアトリエ建築を今に伝える建物が残されている貴重な場所です。

このアトリエを、新宿に残る大切な「土地の記憶」、「まちの記憶」として保存・継承し、広く発信していくために、新宿区立佐伯祐三アトリエ記念館として整備・公開しています。

（ホームページ参考 <https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/saeki/1667/> ）